

スコップを使い、かまくら作りを楽しむ子どもたち（桶谷駿矢撮影）



# かまくら完成 笑顔満面

【七飯】函館七飯スノーパーク（町東大沼）で26日、かまくら作り教室が開かれた。子どもやその家族の計32人が、スコップを手に懸命に穴を掘り、かまくらを完成させた。（和田樹）

## 七飯スノーパークで教室

### 山頂付近に3基

同スノーパークが、スキーやスノーボード以外の雪遊びを親子で楽しんでもらう「雪育プロジェクト」の第1弾として実施した。

道南でも雪不足に見舞われているため、参加者たちは積雪が70〜80センチある山頂付近までゴンドラで移動し、かまくら作りに取り組んだ。前日までに従業員らが集めた高さ約1・5メートル、幅約2メートルの雪の山に、参加者たちはスコップで横穴をあけて、中の雪をかきだし

ていった。

講師を務めた同スノーパーク営業係長の佐伯秀信さん（56）が「天井の強度を高めるため、天井部分が丸くなるように雪を削って」と指導。家族で交代しながら、力強く雪をかきだしていく、計3基のかまくらを完成させた。

両親と参加した函館・北日吉小4年の河村奈桜さん（10）は「かまくらの中は温かくて快適だった」と笑顔で話していた。